

【学習指導要領】

- 生きる力の育成
- 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- 思考力・判断力・表現力等の育成
- 学習意欲の向上や学習習得の確立

【北区教育ビジョン2024】

3つの柱

- I 子どもの可能性を最大限に引き出す学びの基礎づくり
- II 豊かで質の高い教育環境づくり
- III 多様な主体との連携・協働による学びの絆づくり

【特別活動の目標】

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次の通り資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けようとする。
- (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。
- (3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

【本校の教育目標】

○よく考えくふうする子 ◎仲よく助け合う子 ○進んでからだをきたえる子

【研究目標】

目的をもって話し合ったり、折り合いを付けたりして、決めたことをみんなで実践し、他者を意識しながらお互いのよさを認め合い、高め合う児童の育成。

【研究主題】 柳田小を誇りに思い、認め合い高め合う児童の育成
～学級活動を通して～

【目指す児童像】

- | | |
|-----|---|
| 低学年 | 自分の学級を大切にしながら、学級の友達のよさや、考え方の違いを大切にできる子 |
| 中学年 | 所属する学級から学年へと視野を広げながら、他者を理解することができる子 |
| 高学年 | 学校全体のことを考えながら、互いを理解し、よさを引き出したり、よりよくしたりすることができる子 |

【研究の仮説】

発達段階に適した認め合い高め合う活動を行うことで、児童の自己有用感が高まり、よりよい生活や人間関係を築いたり、学級・学年・学校がまとまり、学校生活の充実と向上を図ったりすることができるだろう。